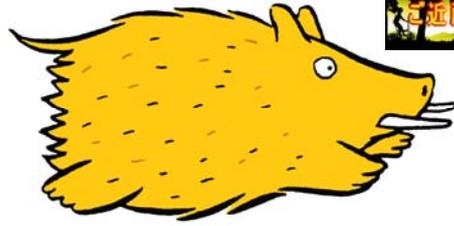




トアソソ隊って言ってるしやないか



どぶ板猿島考 I 編

by うさお



横須賀・汐入・どぶ板通りは、CaccoやTICAさんの従弟である「今草川正雄？」って言われるくらいハンサムさんが昔住んでいました。横濱って言う街も異国情緒の溢れる街だけでも、横須賀は米国色の強い街のイメージです。もちろん維新のときから色々な国の軍艦が横須賀を訪れたので、大東亜戦争以後の日本軍と米軍の軍事基地のイメージが強いです。今でも米軍基地にカメラを向けると憲兵隊（MP）に誰何されて住所、氏名、年齢などを聞かれ写真まで撮られちゃうみたいです。恐いですね。アルカイダの所為らしいですよ。



今回は汐入から横須賀軍港巡りと次回「どぶ板通り」のご紹介です。

戦争遺跡とアドマチック天国ですね。特別にドクガクの歩みのように9年前のグリコ隊員とCacco隊員の猿島巡りも対比しながらお見せしましょう。汐入駅からショッピングプラザ横須賀を目指して行くと、横須賀軍港が見えてきます。国道16号線を渡ると以前にご紹介したヴェルニー公園が左手に見えてきます。16号線を横須賀中央駅方面に向かい裏町を辿っていくとそこが「どぶ板通り」です。



海軍カレーのお話は次回にということで。

汐入の駅を下りるといかにも横須賀という街並み、(どんな街並みなんだい)

もうこんなに人だかりが出来ています。チケットの代わりに缶バッチが配られました。



海に面したレストランエリアに今回の軍港巡りのクルーザーが泊まっています。

「シーフレンドⅠ号」と言います。



1999年猿島に向かう船は「シーフレンド2号」となっています。



クルーザーの中には灯台のミニチュアが…

ここで1999年に猿島探訪の際に利用した船を見てみますと、「シーフレンドⅡ号」となっていますので同じ会社の船に乗ったんですね。当時は季節はずれだったようで二人以外はがらがらだったようです。



出航して直ぐに見えてくるのは、日本の潜水艦2隻。レッドオクトーバーを追えて見ていた潜水艦と違い可愛い。黄色く塗って「イエローサブマリン」にしちゃいましょう。



この船は南極観測船の「しらせ」だ。れっきとした海上自衛隊の船だ。砕氷船の機能を持ち、乗組員は海上自衛隊員だ。だから船には自衛用の自動小銃が備え付けられているよ。



海洋観測船「ふたみ」と「わかさ」。海底の地形や床質や潮流・海流、地磁気、水質（水温・塩分など）を調べるようだ。でも不思議なことにこの艦の行動は秘密で、艦内の見学も許可されていない。観測船じゃないね。スパイ船だ。



多分、吾妻島・・・黄色いトンネルは弾薬庫の入口か？
このあたりは自衛隊と米軍の施設が入り混じっているとこ。迷い込むと大変だぞ！即刻逮捕だ。



ちょっと雰囲気のある遺物。昔は何がここにあったんだろう。誘導灯？ミニ灯台？表示板？



体中に縞が書かれているのは、元護衛艦の「たちかぜ」で、射撃訓練用の的になる運命だそうです。定年退職してからも一働きってところで身につまされます。イージス艦もあったのだけれど、全部で20~30隻見せられても覚えられない。それはまた暇な時にゆっくりと…。



1999年猿島上陸。人がいねえ



いよいよ猿島に到着です。見た目はそんなに変わらないのに、訪れている人がいない。島に入ると直ぐにレストハウスがあり、奥に発電機棟があります。階段の真ん中に木が或るのがご愛嬌。発電機棟は今も昔も変わらないようです。手入れは善くされているようだね。



1999年の様子



1999年の切通し

吃驚するほど変わったのが、この歩道に敷き詰められたウッドデッキ。



雨の日でも歩きやすくなったんでしようけど、ちょっと情感ってもんが…戦争遺跡というよりは遊歩道だなあ…。

坂道を上りきった処に、壁に土管が…伝声管だったようです。



その足元には空気抜きだったか、井戸の跡が…危険だから網で塞がれて居ますがこの下にもトンネルがあったのかも。

ここは兵舎の跡です。土の中なので住み心地は決して良いものではないでしょうが、少し懂れます。





猿島の要塞はこんな風なレイアウトです。北東部は岩場で、南西部は砂浜です。砂浜でバーベキューをしているのをよく見ます。対岸からですが…。



誰もいない海・・・お気楽なグリコ隊員・・・猿島の海岸を一人占めの1999年でした。

意外と海は今もそんなに汚れていないようです。上の地図で言うと棧橋につながる浜辺です。猿島はここ以外には砂浜が無いようですが・・・。人工の浜だって聞いたことがあるけど。



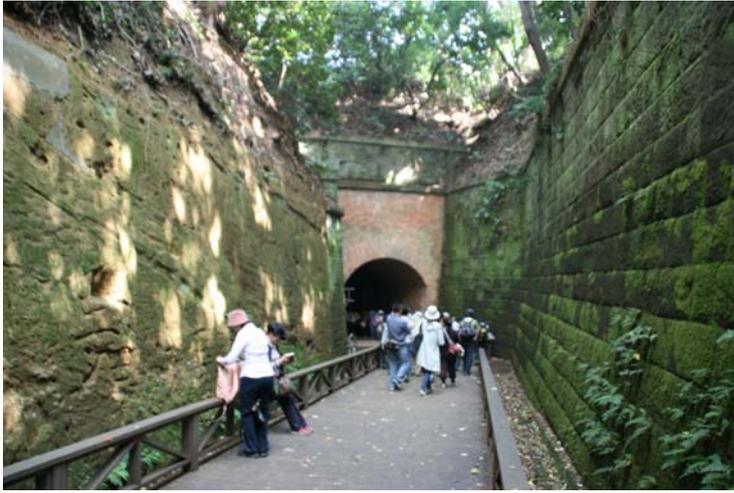
書き忘れましたが、島に上陸すると説明役のおじさんが数名いて、少人数のパーティーに分かれて引率します。

地図には表されていないが、説明役のおじさんによると、ここは台所とも便所とも判らないが、そのような物だとのことでした。



頭上には意味不明な穴が・・・。黄色の板で塞がれたところは弾薬庫。不発弾があるといけないので、立ち入り禁止なのかな。





島の中央に穿たれたトンネル、中に司令部や兵舎がある要塞の要だ。周りの壁に幾つもの弾かれた跡があるのは、終戦直後上陸した米軍が日本軍の反撃を恐れて機銃を乱射した痕跡だ。



トンネルの中の多分、司令部の跡。内は以外に湿度が無く思った以上に快適だった。しかし、壁には漏水跡があり出水期（6月～8月）にかけては如何だろうか？真夏でも土中は16度なので避暑地としては最適なのかも…。



1999年の弾薬庫兼通路



トンネルを抜けたところにある弾薬庫兼島の反対側に抜ける通路はまるで変化を見せていませんでした。

この広場にいた怪しげな「アキバ系」の少女達。ミニテントを持ち込みここで着替えをしているらしい。仮面ライダー系TVの撮影？それとコミケ風コスプレ？



弾薬庫兼通路と言ったのは、こんな風に作られていたから…。

弾薬庫は多分左側の扉の中で、手前側は搬送用の車両なんかが置いてあったんだと思う。

グリコ隊員の好きなスガシー（スガシカオ）のPV(Promotion video)はここで撮影された。



高射砲跡地、この島には数基の高射砲があったそう。しかし、B29（爆撃機）の高度のほうが高く、ほとんど役に立たなかったそう。



高射砲をご存じない方のために、40口径89式12.7cm高角砲をお示しします。

高射砲じゃないじゃんって？
帝国陸軍は高射砲、帝国海軍は高角砲って言っていました。



帰りの道すがら、レフ版を持ち込んでモデル撮影をしている一行に遭遇。有名な女優さんかと思って見たけれども、見たことも無い人だった。

でもなんか自慢そうな顔をしていた。



とすることで今回は猿島奇譚で終わっちゃいました。(写真は丸田祥三風・・・)

横須賀軍港巡りなので途中省略されてしまった遺跡は、Caccoとグリコ隊員のものを再掲しちゃいましょう。

これは戦争遺跡ではない。戦後に作られた展望台なのだ。しかしここを訪れる人は余りいない。砲台跡だけを見て帰ってしまうのだ。



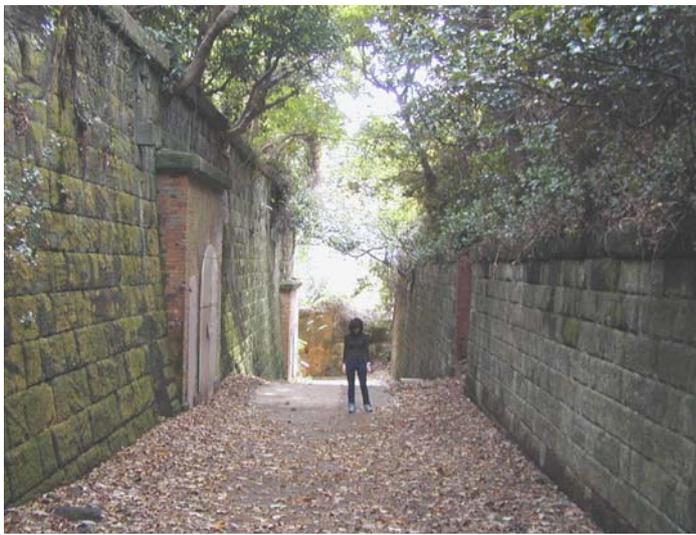
遊び疲れてぐったりのグリコ隊員、足元には「さわら※」が・・・むにゃ〜。この島で一人暮らし。

※村上春樹の「ねじまき鳥クロニクル」より・・・初めはワタヤノボルと呼ばれていた。



場所は不明。多分、先ほどの弾薬庫兼通路の上にあった洞窟でしょう。
単管フェンスがそっくりです。

下は仮面ライダー1号のワンシーン。
グリコ隊員の立っているところは切通の入口のところ。撮影地が同じだ。



下が現在の状態。ここもスガシーのPVロケ地のひとつだ。

対岸のうみかぜ公園から見た猿島。同じ処でS君の「GIFT」のPVが撮られた。DOKUGAKU52号の「バガボンド」でS君のバンドにCaccoが特別出演さっ！

